

広報 ぬまた

7
月号

2013.7.25 No.570



7月7日（日）第40回町民体育祭

今月の主な内容

- ★小学校ICT環境・・・2
- ★町民体育祭・・・4
- ★修学旅行の受入・・・5
- ★まちのニュース・・・6
- ★ふれあいINFO・・・14
- ★町の財政状況公表・・・15
- ★沼田消防から（消報）・・・18
- ★沼田警察署から・・・19
- ★生涯学習ゆめっくる・・・20
- ★図書館から・・・21

町の公式ホームページにおいて、まちのニュースが随時更新されており、いち早くご覧になれます！

また、フェイスブックの公式ページも公開されていますので、町ホームページにある右記のボタンをクリックしてご覧ください。





沼田の情報技術の最先端！ 今、沼田小学校のICT環境が熱い！！

昨年12月に完成し、1月から児童が通い始めている沼田小学校の新校舎。新築されたピカピカな校舎はICT（注1）化が進んでおり、未来を担う子供たちの「情報活用能力」を養う「わかる授業の展開」等を、沼田小学校では推進しています。

パソコンスペースには、授業支援システムにより教師用パソコンと児童用パソコンの画面を相互に確認することが出来るノートパソコン30台が並び、タブレットが5台、更にそれらを繋ぐ寒冷地仕様の無線LANが整備されています。ノートパソコンを選択した理由は、モバイル性に優れていて授業をしてもディスプレイによる壁が無く、顔が見えるため、先生が子供たちの表情を見ながら授業を勧められるからです。

日本マイクロソフト社などが国内の学校に調査をした、「学校でのICT活用についての実態調査2011」での設問に「どのような仕組みがあったら、パソコンやインターネット等の情報通信技術を活用した授業が推進されると思いますか？」との問いに多くの希望があった事項を解決しようと工夫されています。

◆もっとパソコンと連携できる大型スクリーンなどが多ければ：

沼田小学校ではすべての普通教室に電子黒板（注2）を配置

◆普通教室へのパソコン配備が、もっと進めば：

小中学校のすべての普通教室に配置した電子黒板を繋ぐための専用ノートパソコンを配置しました。

◆容易に持ち運べるノートパソコンやタブレット端末がもっとあれば：

小学校パソコンスペースのパソコンを持ち運びできるノートパソコンにして、グループ学習用に小中学校にタブレット端末を配置しました。

◆高速無線LANなど、校内のどこでも高速でインターネットに繋がるようになれば：

小中学校は校内どこでも無線LANでインターネットにつながります

注1… ICT (Information and Communication Technology) 多くの場合「情報通信技術」と和訳される。IT (Information Technology) の「情報」に加えて「コミュニケーション」(共同)性が具体的に表現されている点に特徴がある。ICTとは、ネットワーク通信による情報・知識の共有が念頭に置かれた表現であるといえる。

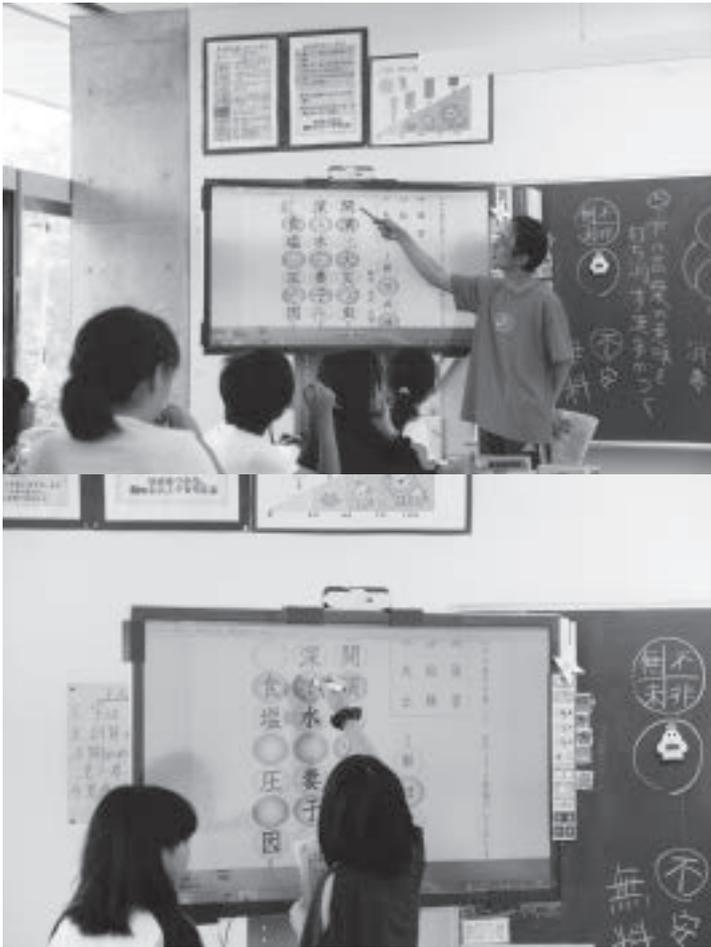
注2…電子黒板とは、文字や図、イラストなど、ボード上に書き込んだ内容を電子変換することが可能となったホワイトボードのことで、当町では、大画面薄型テレビのディスプレイを使用したタイプを導入。

電子黒板って素晴らしい！

電子黒板では、パソコンから映し出された画面上でコンピュータを直接操作することができます。そのことにより、子供たちは自分で操作できるため、授業に対する興味・関心・理解が格段に高まります。

電子黒板の一番の良さは、予め児童が持っている教科書と同じ物やデジタル教材、画像などを画面に表示し、そこに直接書き込みができるということ、従来の黒板と同じように使える一方で、色や線の太さを

変えたり、図形を描いたりという点でその表現力は、従来の黒板以上です。さらに実物投影機も整備しているのです、小さなものを電子黒板に大きく映し出すことができます。例えば教科書の小さな絵や図、子供たちが書いたノート、書写の筆運びなどを大きく映し出せば、見せたい内容をしっかりと見せることができ、また、児童の顔が上がるので、集中度や理解度を確認することができます。「わかりやすい授業」となります。



町民の方々も活用

また、パソコンは小学生の授業に活用されるだけでなく、一般の方に対しても活用されています。

町教育委員会は、小学校のパソコンを使用して、これまで合計6回、パソコン教室を実施しています。

3月に行われた「パソコン基礎講座」では、町外から講師を招き、上は約80歳になる方も講



座に参加し、パソコン操作を習得しようとしていました。

5月から6月に掛けても「初心者パソコン講座」を開設し、教育委員会の職員が講師となり、町民の方々にパソコンの基本を学んでいただきました。

今後も町教育委員会では、町民向けの事業を展開していき、小学校のIT環境を有効活用していく考えです。

大人も子供もみんな本気!! 第40回町民体育祭



第40回の記念となる町民体育祭が、7月7日(日)晴天の中、沼田中学校グラウンドで開催されました。

会場には、約1000人の町民が集まり、開会式で大会長の金平町長が「40回続けてこられたのも地域力の大きさだと思えます。また、この町民体育祭は、親睦が第一だと思っているので1日楽しんでください」と挨拶。その後8チームに分かれて競技を楽しみました。

競技は、おなじみの「急いで満タン」や「綱引き」などのほか、40回を記念した「40回記念〇×クイズ」や40回記念ポーンズ抽選として、特定の種目が終了後、抽選をひいて当たりが出るとポーンズポイント40点が加算されるなど、工夫が凝らされ運も試される楽しいものになりました。結果は、別表のとおりです。



町民体育祭結果表

総合順位	組〈行政区〉	得点
優勝	白組 〈市内1(東・北・南)〉	505点
準優勝	茶組 〈旭町(東・西)〉	450点
3位	黄組 〈高穂2・共成・東予・更新〉	380点
4位	緑組 〈仲町(東・西)・西町〉	360点
5位	橙組 〈市内5・6・7・緑ヶ丘〉	350点
6位	赤組 〈市内2・3・4・南町〉	340点
7位	青組 〈北竜1・2・3・恵比島1幌比里〉	330点
8位	紫組 〈沼田1・3・4・中央・高穂1〉	315点



沼田の豊かな資源や伝統ある文化は学びの宝庫！

沼田町は修学旅行の受け入れを盛んに行っています！

体験・学習する素材が豊富な沼田町は、修学旅行の受け入れを積極的に進めています。

幌新太刀別川流域を中心に発掘されるタカハシホタテなどの化石、冷房や米などの作物の保存に利用されている雪、そして平成25年に第37回目を迎える「夜高あんどん作製体験コース」

どん祭り」などを体験・学習するため、特に身近な距離にある札幌圏を中心とした小中学校から人気です。

7月前半だけでも4小学校から約400名の児童を受け入れ、今後も更に予約が入っているなど沼田町にある資源や文化素材が豊富

なを体験・学習しようと児童達が沼田町を訪れます。

7月9日（火）には札幌市立稲穂小学校の児童と引率含めた約100名が沼田町を訪れました。沼田町を紹介する映像を観た後、児童らは「夜高あんどん作製体験コース」「雪利用施設見学&雪合戦

体験コース」「雪利用施設見学&いちご狩りコース」の3コースに分かれて体験学習を行いました。

修学旅行での体験を通して、児童達の心のどこかに沼田町が刻まれ、将来地域活性化に繋がることを期待しています。

夜高あんどん作製体験コース

夜高あんどん作製体験コースでは、役場あんどん連であんどん作りの「匠」である辻山典哉さんと絵師の高橋光一さんが児童23名の指導にあたり、B5版の大きさの角あんどんに「口ウ引き」と「色付け」を行いました。

児童らは両名の指導の下、真剣な眼差しで自分の角あんどんに筆を走らせて、口ウ引きと色付けを行い、その出来栄に児童らも満足した様子でした。



雪利用施設見学&イチゴ狩りコース

イチゴ狩りコースでは、雪の科学館や椎茸栽培ハウス、雪山センターなどを見学して、沼田町就農支援実習農場のイチゴ栽培ハウスに到着。29名の児童は、

手渡されたお皿に、雪冷房で栽培された、真っ赤に実ったイチゴを収穫し、そのまま笑顔で口に運び、「おいしーい！」「すごく甘い！」と探れ立てイチゴの味に大満足の様子で、イチゴ狩りを楽しんでいます。



雪利用施設見学&雪合戦コース

雪合戦体験コースを選んだ39名の児童は、沼田式雪山センター横に作られた特設会場で、天然雪を使用した雪合戦を体験。各8名のチームに分かれて試合を行い、「雪玉ちようだ〜い！」や「旗を取りに行け〜い！」など、白熱した試合を繰り広げていました。

雪合戦終了後は、役場農業振興課利雪技術開発センターの伊藤勲主任研究員の指導の下、雪と塩で材料を冷やして作る「アイスクリーム作り」を行い、出来上がったアイスを美味しくそくに頬張っていました。



まちのニュース

Numatatown News

まちのニュースは、沼田町公式ホームページからでもご覧になれます。Facebook ページもありますので、そちらもご利用下さい。

沼田野球スポーツ少年団と沼田中学校野球部が合同練習

天候が良く日差しも良い中、沼田野球スポーツ少年団（沼田ヤングイーグルス）と沼田中学校野球部の合同練習が、6月9日（日）沼田中学校グラウンドで行われました。

これは、沼田中学校側が小学生に野球をやってもらい引き続き中学校に入っても野球を続けてほしいという思いから行われたものです。

この日は、小中学生合わせて約30名が参加し、キャッチボールやポジション別の守備練習、最後は、小中学生を混合した3チームによる総当たりのティーボールミニゲームを行いました。

中学校野球部の指導者が指導したほか、中学生が小学生にお手本を見せながら丁寧に指導し、参加した小学生は、普段には無い貴重な体験をしました。



明るく元気にいきいきと！

平成 25 年度 いきいき大学開講式

6月10日（月）、町生涯学習総合センターゆめつくるのゆめつくるホールにおいて平成25年度沼田町いきいき大学開講式が挙行されました。

沼田町いきいき大学は、町内に住む60歳以上の方なら誰でも参加できる、「明るく、いきいきとした学習」「趣味を広げる活動」「スポーツに親しむ活動」の3つを目標に掲げた事業で、今年は約140名におよぶ参加登録がありました。

開講式には110名が参加。学長を務める生沼教育長が「このいきいき大学での学習を通じて、心と体の健康づくりに励んでください。みなさんには、ぜひ積極的に参加していただき、皆勤賞を目指してください」と挨拶。大学生代表の山本ハツ子さんは「12月には受講生全員が、いきいきとした姿で閉講式を迎えられるよう頑張りたい」と決意を述べられました。



ハウスの中は暑くて大変！

小学 4 年生が総合学習でメロンの定植

6月11日（火）、沼田小学校（藤森正男校長）の4年生児童21名が、総合学習の一環としてメロンの定植体験を行いました。

このメロンの定植体験は、農家の女性で組織している「農天氣の会（藤村富士子代表）」が主催となり、児童らに作物が育つ過程を知ってもらい、農業の良さを肌で感じてもらおうと小学校と連携して行っており、今年で節目の10回目を迎えました。

定植体験は、農天氣の会メンバーの辻よし子さんのビニールハウスで行われました。メンバーらは児童に定植の仕方を丁寧に教え、いざビニールハウスへ。この日は雲一つない晴天で、ビニールハウスの中の温度はなんと33℃まで上がっており、児童らは「あつ〜い！」と額に汗を流しながら、一株一株丁寧にメロンの苗を植えていました。

この体験学習は、定植体験を含めて、定植前に行われた事前学習会、7月に行われるメロンがどれくらい育ったかを見る経過観察、8月の「皿敷き」、そして9月の収穫と試食会、合計5回の授業で構成されています。

農天氣の会のメンバーは「子どもたちにはこの体験を通じて、農業に目を向けてもらいたい」と話していました。





色とりどりの花は全部自社栽培！

中村建設(株)が自社栽培の花で町内美化活動



6月12日(水)、中村建設(株) (中村剛代表取締役) が、沼田町就業支援センターの花壇に花を植えるボランティア活動を実施しました。

中村建設は支援センターが開所した当初から草刈などの美化活動をボランティアで行っており、近年は花壇への花の定植活動を実施していました。

この日は中村建設が自社のビニールハウスで栽培したペチュニアなどの花を約200株持ち込んで定植を行いました。

また、中村建設は6月15日(土)に、町民パークゴルフ場に花を植えたプランター70個を寄

贈しました。

毎年恒例となったこの活動は、今年で4回目を数えます。プランターはクラブハウス前に設置され、パークゴルフ場に綺麗な彩りを添えていました。

今回の美化活動を担当した渡辺常務取締役は「今年は寒かったので少し花が小さめだが、これから成長していった綺麗な咲いてくれると思う」と話していました。

彩り鮮やかな用水路に

沼田長生クラブが花の定植ボランティア



6月13日(木)、沼田長生クラブ(野道夫会長)が沼田厚生病院の裏手にある沼田第2幹線用水路に花の定植ボランティアを行いました。

この日ボランティアに集まったのは、上は91歳までの長生クラブメンバー20人のほか、用水路を管理する沼田町土地改良区の職員、さらに改良区のOBも駆け付け作業を行いました。

植えられた花は、約1,200本におよぶマリーゴールドやペチュニアなどの色とり取りなもの。用水路は綺麗な花で彩られ、作業を終えた参加者たちは充実した表情で花を眺めていました。

沼田町商工会女性部青年部主催「チャリティービールパーティー」



毎年恒例の商工会女性部青年部共催「チャリティービールパーティー」が、6月14日(金)沼田町民会館で行われました。

沼田町では、6月に毎週行われる3つのイベントが共同で沼田町観光協会が主催して「水無月企画スタンプラリー」を開催しており、今回もその関連行事として行われました。

会場には、開始時刻の午後6時前からお客さんが待っており、夏の始まりを告げるイベントとしてすっかり定着しています。

このビールパーティーは2,000円(前売券)で飲み放題ということもあり好評で、会場に訪れた約350人は仲間と楽しく談笑し、特賞の3万円分のガソリンが当たる抽選会などで楽しみました。



花でまちをきれいに！

町民らがボランティアで花植え

花で街をきれいにする「グリーンルーラルぬまた 21」の一環で、自治振興協議会（横山忠男会長）が主催して公共施設などに花を植えるボランティア活動が6月15日（土）町内で行われました。

ゆめっくる前で行われた開会式で横山会長が「人の集まる場所は特にきれいにしたい。今日は、皆さんよろしくお願ひします」と挨拶。町内からの一般ボランティア6名と妻神工業㈱（妹背牛町）の社員、自治振興協議会の役員らが2チームに分かれて、マリーゴールドなど5種類760株の花を植えました。



沼田町は化石の宝庫！

2013 年度化石採集会

全国から参加者が集まる、沼田町化石体験館主催の「化石採集会」の第1回目が、6月16日（日）町内を流れる幌新太刀別川で、遠くは東京からの親子など38名が参加して行われました。

沼田町は、化石の宝庫として知られており、今回採集体験をした河原には、約500万年前の化石も眠っており、沼田町でしか発見されていないイルカの化石なども発見されています。

発掘場所に到着した参加者は、沼田町化石体験館の篠原暁館長から化石発掘の注意事項などの説明を聞き、化石発掘のベテランである田中三郎指導員とともに化石発掘に入りました。参加した4人親子は、形の良いタカハシホタテを見つけ「こっちに形の良いタカハシあるよ」と声をかけあい、興奮した様子で化石を発掘していました。



地域のボランティア活動を積極的に行っています！

沼田ライオンズクラブ認証50周年記念式典

1963年（昭和38年）6月に深川ライオンズクラブのスポンサーにより、チャーターメンバー26名で結成された沼田ライオンズクラブ（現会員47名）の国際協会からの認証50周年記念式典が、6月16日（日）沼田町民会館で行われました。

この日は、滝川や留萌など近隣等のクラブ会員約250名が参加。墓田邦晃会長は「今の沼田ライオンズクラブの姿があるのも先輩達のおかげです。今後も奉仕活動に全力を注いでいきたい」と挨拶。長年会員であられる岩寺一之さんや50周年記念事業の実行委員長として準備を進め、一昨年亡くなられた広野伸一さんに感謝状が贈られました。

沼田ライオンズクラブは、この50周年記念事業として沼田小学校の太陽光液晶モニターや電子血圧計、公共施設のプランターなど計180万円相当を寄贈しました。



暑さなんかには負けない！

第 36 回沼田幼稚園大運動会



6月16日（日）、沼田幼稚園（田中敏夫園長）の第36回目となる運動会が行われました。

開会式で田中園長は「この日のために園児は先生方と練習を重ねてきました。園長先生と約束した『転んでも泣かない』『失敗しても泣かない』『負けても泣かない』この3つの約束を守って楽しい運動会にしましょう！」と、園児18名にエールを送っていました。

園児は蒸し暑い天候の中でも、運動会の定番の玉入れや大玉転がし、音楽に合わせて踊った遊戯、リレーなどを元気ハツラツにプレー。保護者や祖父母と一緒に取り組む競技も全力で行っていました。

閉会式では結果発表が行われ、赤組のさくら組が25点で優勝、白組のすみれ組が21点で準優勝となりました。最後に田中園長と横山昌利PTA会長から、頑張った園児全員に金メダルが贈られ、田中園長に「運動会は楽しかった？」と聞かれた園児は、大きな声で「楽しかった！」と答え、園児の元気いっぱいな姿がまぶしい運動会となりました。

将来に向かって考えよう！

第1回「ぬまかふえ」



まちづくりのリーダーとなる人材を育成すると同時に、共に行動し合える同世代の仲間づくりを目的とした「沼田町の将来を担う町づくりリーダー養成塾（通称：ぬまかふえ）」の第1講が、6月18日（火）ゆめっくるで開催されました。

これは、町内に在住若しくは勤務する20歳から35歳までの男女を公募し参加を募ったもので、この日行われた第1講には4名の若者が集いました。

教育委員会の田中恵理華社会教育主事の穏やかな口調で進行され、「沼田町以外で住みたい街は？また、その理由は？」「逆に住んでみたくない街は？」など、参加者が順に発表していきました。

この「ぬまかふえ」は、来年3月まで開催する予定で、参加者も随時受け付けていますので、ご参加をお待ちしています。

彩り鮮やかな力作 34 点を展示

沼田祐輔さんが北海道で初の個展開催



沼田町在住の美術作家・沼田祐輔さんの個展「NEVERMIND」が、6月18日（火）から6月28日（金）の間で、深川市4条9番8号にある喫茶「ふれっぷ」で行われました。

沼田さんは宮城県仙台市にある東北芸術工科大学の美術科を卒業。大学在学中に仙台市で個展、東京ではグループ展、卒業後も札幌市でグループ展を開催したり、「トーキョウワンダーウォール」や、昨年の「西会津国際芸術村公募展」に入選するなど、精力的な活動を繰り返しています。

北海道で個展を開くのは初めての事で、この個展の為に約3ヶ月間で絵画や模型など計34点を制作しました。沼田さん曰く「よく女性の作品に間違われる」というカラフルな絵が多く飾られており、縦90.8cm・横72.5cmにもなる大きな作品から、ポストカードサイズの作品まで、一つ一つ丁寧に描かれた力作が並んでいました。

制作期間を振り返って「とにかく必死だった」と語る沼田さん。「色々なタイプの作品を試して描いてみた。不特定多数の人に届けたいという気持ちで作品を仕上げたので、色んな方に楽しんでもらいたい」と笑顔で話していました。



住民の皆さんとのパイプ役に 地域担当員任命式

今年度から始まった地域担当員制度の担当員任命式が、6月18日（火）ふれあい会議室で行われました。

この事業は、地域の方々と行政が取り組む「協働のまちづくり」を推進し、役場職員が町民の皆さんと行政のパイプ役となり、地域で抱える問題等を共に解決していこうというものです。

任命式では、任命書が手渡された20名の役場職員に金平町長から「それぞれの地域の抱えている問題の解決、活性化に向けてのアイデア収集など住民とのパイプ役として活動してください」と挨拶をし、職員はさっそく打ち合わせをして活動を開始しました。



新鮮野菜や屋台で賑わう！ まちなか賑わい夕市&とむとむ屋台

新鮮野菜の販売や焼き鳥、ビールなどの屋台が並んだ「まちなか賑わい夕市&とむとむ屋台」が、6月21日（金）石狩沼田駅前とむとむ広場で行われました。

沼田町観光協会が主催する水無月特別企画の一環として行われたこのイベントには、午後4時の開始前から町民らが訪れ、新鮮なホワイトアスパラや沼田町産の新鮮タマゴなどを買い求めていました。

屋台も好評で仕事帰りの方々が、仲間と焼き鳥やビールを買い求め「たまにこんな風に気軽に立ち寄れる場所があったら良いよね」と語り合ったりして、今後のこのイベントへ期待が感じられました。

最後は、特賞の「ほたる館ペア宿泊券」などが当たる、水無月特別企画の抽選会が行われ、参加者は抽選番号の発表の度に歓声をあげていました。



寒さなんてなんのその！ 平成 25 年度共成保育園運動会

6月22日（土）、共成保育園（渡辺敏昭園長）で平成25年度の運動会が共成保育園前にあるグラウンドで開催されました。

この日は残念な事に天候に恵まれず肌寒い天候の中ではありますが、開会式で渡辺園長は「生憎の天気になってしまいましたが、寒さに負けずに頑張ってください」と園児に向けてエールを送っていました。

その園長の応援に応えるかの様に、園児はお遊戯の「パンのマーチ」では駆け付けた家族の前で元気に踊り、かけっこや障害物競走では全力疾走をみせ、園児の元気ハツラツとした姿に会場からは暖かい声援が起こっていました。

この他にも、父母と一緒に協力して行われる「玉入れ」などが行われるなど、和気あいあいとした明るい雰囲気での運動会となりました。



資質向上と交流推進の為に初の試み

小平・幌加内・沼田 3 町役場職員研修会



6月26日(水)、町生涯学習総合センターゆめっくるで、小平・幌加内・沼田3町広域振興協議会が主催する役場職員研修会が行われ、各町の職員が参加しました。

小平・幌加内・沼田3町広域振興協議会は、平成2年に3町にある人造湖を生かして、観光や経済の活性化を図ろうと設立されました。23年間続く活動の中で、今回の職員研修は初めての試みとなります。

この日は、ファシリテーターとして(株)ソーシャル・アクティの林加代子代表取締役と、一般社団法人コーチ・アプローチ・ファシリテーター連盟の百野あけみ理事を招き、「ワールドカフェ」形式で「3町の定住対策」をテーマにワー

クショップが行われました。

最初は緊張していた様子の参加者でしたが、自己紹介や話し合いの中で次第に緊張が解けていき、最後の方ではリラックスした様子でアイデアを出し合っていました。

25年の歴史あるメロディ、新しく録音！

「セーフティ・メロディ」伝達



平成元年に当時の沼田警察署員(現・羽幌署長)が作成し、沼田警察署の管下自治体で交通安全活動や地域安全運動に使用していたメロディを、留萌ブロック警察署(留萌、深川、沼田、羽幌)で一体となって使用して安全意識の高揚を図ろうと、4警察署へのメロディリレー伝達式が6月29日(土)に行われました。

今回、4警察署が使用するにあたって、道警の音楽隊が新たに録音。今まで名称のなかったメロディを「セーフティ・メロディ」と呼称することになりました。

伝達式では、「北海道ハーレー警ら隊札幌方面警ら隊」のハーレーダビットソン6台が沼田警察署を訪れ、交通安全啓

発運動を盛んに行っている沼田長生クラブと沼田保育園の園児などがハーレー警ら隊を出迎える中、野崎高広警ら隊副隊長から新録された音源の入ったCDが手渡されました。

新しい音源が伝達式会場に流れる中、菊地一秀副署長は「住民の安心安全を守る諸活動に使用していきたい」と話していました。

動き回る人形に感動！

子ども人形劇

6月29日(土)、町生涯学習総合センターゆめっくるの2階研修室3で「子ども人形劇」が開催されました。

親子を対象として呼びかけたこの人形劇は、札幌市から「おたのしみ劇場ガウチョス」を招いて行われました。陽気な音楽に合わせて「マリオネット『こまめちゃん』」が演じられ、会場に駆けつけた子ども達は、自由に動き回る人形たちを食い入るように見て、人形劇を楽しんでいる様子でした。

演目終了後は、マリオネットを動かす体験も行われていました。





晴天の下に開催！

第 60 回沼田保育園運動会

6月30日（日）、沼田保育園（土肥芳子園長）で第60回目の運動会が園庭で開催されました。

この日は雲一つない晴天で絶好の運動会日和となりました。開会式で土肥園長は「持っている力を十分に出し切って、運動会を頑張る」と園児に声をかけていました。

園児は徒競走や玉入れ、綱引きなどの運動会の定番種目などを元気いっぱいに行い、保護者と一緒に行う「ピンポ～ンダッシュ2」のときは、保護者と一緒に競技出来るのが嬉しかったのか、園児たちは満面の笑顔で走り回っていました。

保護者の応援席からも「がんばれ～！」と園児を応援する声が盛んに飛び交い、青空に負けない明るい雰囲気での運動会となりました。



晴天の下に開催！

小学 2 年生の保護者がイベント炊飯を実施！

7月2日（火）、沼田小学校2年生の保護者が授業参観に合わせて「イベント炊飯」を実施しました。

PTAの事業の一環として、児童たちに炊き立てのご飯を給食で食べてもらいたいと企画。保護者も児童たちと一緒に給食を食べることもあり、お米を3升用意されていました。

小学校内の多目的室にテーブルを並べ、児童に炊き立てのご飯が配られると「いい匂い！」「甘い匂いがする」と喜んでいる様子で、大きな声で「いただきます！」を言うと、児童らは勢いよくご飯をほお張っていました。

給食後は、5時限目を使って親子レク「紙飛行機大会」を実施し、親子の笑顔が溢れる授業参観日となりました。



今後も継続して実施を…

富岡産業（株）が除草ボランティア

7月2日（火）、深川市に本社を置く富岡産業（株）（富岡正幸代表取締役）が、町内で除草ボランティアを実施しました。

富岡産業は、幌加内トンネルから沼田町民体育館までの国道の年間維持や、高規格道路の工事を請け負うなど、沼田町と縁があり、今回の除草ボランティアを実施する運びとなりました。

この日は作業員12名が沼田町を訪れ、刈払機を使って南町の達布排水路の草を丁寧に刈り取っていました。作業にあたった担当者は「沼田町内の道路区間の年間維持を行っている縁で今回実施させてもらったが、今後も継続して毎年除草ボランティアを実施していきたい」と話していました。



夏の観光時期に事故が起きないように…

夏の交通安全運動における北空知地区合同出陣式



7月10日から19日までの間に実施される「夏の交通安全運動」をより効率的に推進しようと、北空知地区を管轄する深川・沼田両警察署と、自動車専用道路（留萌道）を管轄する旭川機動警察隊による合同出陣式が、7月5日（金）、沼田警察署前で行われました。

この合同出陣式には、沼田地区交通安全協会連合会や、沼田・北竜両町の交通安全協会の役員など30名が参加しました。

木村茂典沼田警察署長は「これから夏にかけて観光などで交通の流れが多くなる。北空知地区の安全を守るべく、交通安全運動を実施していきたい」と挨拶。来賓の沼田地区交通安全協会連合会の山田英次会長も「警察署員や地域交通安全

推進委員のみなさんには、どうか町民の交通安全を守っていただきたい」と激励の言葉を送っていました。

その後、パトカーと白バイが町内のパトロールのために出動していきました。

寄贈

沼田ライオンズクラブが

プランターを寄贈

6月13日（木）、沼田ライオンズクラブ（墓田邦晃会長）が、ライオンズクラブ認証50周年記念事業の一環として、町にプランター60基を寄贈しました。

現在、町で使用しているプランターの痛みが激しくなってきたり、町の緑化に繋がればとの事で、今回、プランターが寄贈される運びとなりました。

町長室を訪れた墓田会長からは、金平町長に目録を手渡し「小学校やとむとむ広場などの公共の場に花を置いてもらい、町民に潤いをあたえてもらえれば」と話し、金平町長は「しっかりと活用させていただきます」と話していました。



「ふれあいグリーンキャンペーン」 エゾヤマザクラの寄贈をうけました

旭川トヨペット（株）が展開する「ふれあいグリーンキャンペーン」でエゾヤマザクラの苗木3本が、沼田町に寄贈されました。

6月26日（水）町長室で行われた寄贈式では、旭川トヨペット（株）の吉田代表取締役会長から町長に目録が手渡され、国際文化協会の大使得2013ミス・インターナショナル日本代表の高橋有紀子さんから国土緑化機構からのメッセージの朗読があり、それに対し金平町長が「これからは森を大切に、またこれを機会に緑の大切さを考えていきたい」と話しました。

この苗木は、今年の9月末に田島公園に植えられる予定です。



ふれあい Infomation



～平成 25 年度沼田町食生活改善協議会の事業を紹介します～

食健康

「私達の健康は私達の手で」をスローガンに“食”を通じた健康づくりを推進し、結成 31 年目を迎えました。26 名の会員で幅広く活動していますので、地域の皆様も一緒に活動しましょう。

★主な活動★

- ☆学童保育での食育事業
- ☆親子料理教室
- ☆男性の料理教室
- ☆ひとり暮らし高齢者の食事会



★自主研修など★

- ☆各時期講習会
- ☆旭川市食生活改善協議会への視察研修
- ☆各地区伝達講習会
- 日々研修を深めています。

★今年度の新規事業★

♪食文化次世代伝承事業♪

【実施に到る背景】

- ・生活習慣の多様化や核家族化の進行
- ・夫婦共働き等

これらにより…

●昔ながらの日本食文化が親から子、孫へと伝承される機会が失われつつあります。

●調理や食事にかかる時間にも限りがあります。



結果として…

20～30代の調理技術や食文化の乏しさ等の現状が町の各事業からも把握されています。



このような背景から今回の事業を企画しました！

【概要】昔ながらの行事食やお袋の味に関する料理講習会

【時期】コースⅠ = 9月 7日(土)

コースⅡ = 10月 26日(土)

※8月にチラシ配布予定です

【対象】全町民（特に独身者及び子育て世代の方々、お待ちしております！）

昨年の食育ワークショップ in 沼田は71名が参加されました。今年も沢山の参加をお待ちしています！

【実施メニュー】

コース1

★特別な日に作りましょ★

～ 基本の行事食が大集合！

おはぎ・桜もち・のり巻き・いなり寿司・伊達巻き

コース2

★和食の定番レシピを大胆リメイク★

2度美味しい和食レシピが大集合！

赤飯・汁物

おから

→コロッケ、オムレツへリメイク！

ひじきの煮物

→五目散らし寿司、白和え、サラダへリメイク！

【保健福祉課健康グループ 担当：小松】

『運動不足』『自身の健康』気になりませんか？

運動習慣のない方は、外出することが億劫に感じられ、家に引きこもりがちになります。身体が使われなくなると「廃用」と言い筋力や柔らかさが低下し、体の不調を引き起こします。運動を継続的に行うことで、生活習慣病をはじめとした病気の予防・状態改善に繋がります！

ふれあいヘルシーアップ会をご存知ですか？

いつまでも健康であるために、自主的に楽しく運動を続けているグループです。まずは、交流やストレス解消の場として気軽に足を運んでみませんか？

- ☆活動☆ 日時：毎週月・木 13:30～15:00頃
- 場所：ふれあいホール（正面玄関から入って左奥）
- 内容：簡単な体操、ニュースポーツ、ウォーキング
健康運動指導士による体操運動紹介 など
- *事前予約不要・参加無料 見学もできます★



5月20日の活動の様子。60代の方を中心に、10名程度で活動しています。

【保健福祉課健康グループ担当：松野】

平成24年度下半期（10月～3月） 町の財政状況公表

この説明書は、みなさんから納めていただく税金や国・道からの補助金がどのように使われているかをお知らせし、町財政の実態と施策にご理解をいただくため年2回定期的に公表を行っているものです。

今回は、一般会計のほか特別会計の平成24年度下半期の財政運営の状況や町税の負担状況、基金及び借入金（町の借金）の状況、また、公営企業の経理状況についてその概要をお知らせします。
なお、今回掲載しました町の財政状況については、役場財政課で閲覧することができます。

一般会計

平成24年度下半期（10月～3月）における主な補正としては、今冬の大雪による町道除排雪委託料、中・北空知廃棄物処理広域連合負担金（特別交付税措置）、スコーレセンター指定管理委託料、移住定住応援奨励金、国民健康保険特別会計繰出金等の予算計上をしました。

また、将来の財源を安定的に確保することから基金の積立に、振興基金、移住定住応援基金、地域医療確保安定化基金を、計上しております。

なお、公債費の繰上償還を実施し、将来の町民負担軽減を図りました。

期間中総額3億3,974万円の予算補正を行い、3月末における予算額は53億9,064万円となりました。



歳入

下半期における歳入の予算補正の状況は、地方交付税等一般財源の増額、小学校改築事業の国庫支出金の増額となっており、合わせて基金繰入金の減額補正を行っております。歳入については、歳出の補正に伴う特定財源の充当整理が主な内容です。

（単位：万円）

区 分	当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	予 算 額	構成比 (%)
町 税	3億1,747	—	167	3億1,914	5.9
地 方 譲 与 税	5,800	—	565	6,365	1.2
利 子 割 交 付 金	100	—	△15	85	—
配 当 割 交 付 金	20	—	16	36	—
株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金	10	—	—	10	—
地 方 消 費 税 交 付 金	3,500	—	73	3,573	0.7
ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金	200	—	△88	112	—
自 動 車 取 得 税 交 付 金	1,200	—	140	1,340	0.2
国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金	1,300	—	△16	1,284	0.2
地 方 特 例 交 付 金	40	—	8	48	—
地 方 交 付 税	20億2,109	1億8,690	4億1,981	26億2,780	48.7
交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金	70	—	—	70	—
分 担 金 及 び 負 担 金	6,249	—	922	7,171	1.3
使 用 料 及 び 手 数 料	8,800	—	△392	8,408	1.6
国 庫 支 出 金	5億483	△201	2億1,810	7億2,092	13.4
道 支 出 金	2億5,105	677	△1,147	2億4,635	4.6
財 産 収 入	1億5,656	—	△827	1億4,829	2.8
寄 附 金	5,021	—	228	5,249	1.0
繰 入 金	6億4,143	—	△2億5,092	3億9,051	7.2
繰 越 金	500	5,390	—	5,890	1.1
諸 収 入	1億4,047	534	△149	1億4,432	2.7
町 債	4億3,900	—	△4,210	3億9,690	7.4
計	48億0,000	2億5,090	3億3,974	53億9,064	100.0



歳 出

下半期における歳出の予算補正については、今後の財政安定が図れるよう公債の繰上償還、基金積立等を実施したところです。

(単位：万円)

区 分	当初予算額	上半期にお ける補正額	下半期にお ける補正額	予 算 額	構成比 (%)
議 会 費	4,687	19	258	4,964	0.9
総 務 費	3億3,995	439	5,005	3億9,439	7.3
民 生 費	5億1,531	3,700	△1,192	5億4,039	10.0
衛 生 費	1億9,521	1億8,499	897	3億8,917	7.2
労 働 費	846	—	△103	743	0.1
農林水産業費	4億5,805	917	△2,808	4億3,914	8.2
商 工 費	6,428	100	700	7,228	1.4
土 木 費	5億1,103	743	△1,111	5億 735	9.4
消 防 費	1億8,028	116	△993	1億7,151	3.2
教 育 費	12億4,880	484	237	12億5,601	23.3
公 債 費	5億4,436	—	1億8,460	7億2,896	13.5
諸 支 出 金	7,979	73	1億2,457	2億 509	3.8
職 員 費	6億 610	—	2,167	6億2,777	11.7
災 害 復 旧 費	51	—	—	51	—
予 備 費	100	—	—	100	—
計	48億0,000	2億5,090	3億3,974	53億9,064	100.0

下半期における予算補正の主な内容

(単位：万円)

区分	補正額	補 正 額 の 主 な 内 容
議 会 費	258	議会音響設備等修繕料の増
総 務 費	5,005	移住定住応援奨励金の増、自動車学校指定管理業務委託料の増、沼田交通教育協会貸付金の減、スコアセンター指定管理委託料の増、沼田開発公社負担金の増、総務経費の減
民 生 費	△1,192	老人福祉施設措置費の増、後期高齢者療養給付費負担金の減、保育園運営委託料の増、国民健康保険特別会計繰出金の増、重度心身障がい者医療給付費の減、高齢者世帯等除雪費助成事業の減
衛 生 費	897	上水道事業会計繰出金の減、がん総合健診委託料等の減、北空知衛生センター組合負担金の減、中・北空知廃棄物処理広域連合負担金の増
労 働 費	△103	重点分野雇用創出事業委託料の減
農林水産業費	△2,808	農地・水保全管理支払負担金の減、東予中央線排水路改修工事の増、経営体育成基盤整備事業負担金の減、実習農場経費の減
商 工 費	700	中小企業緊急対策利子補給の増
土 木 費	△1,111	町道除雪業務委託料の増、町道東予中央線凍雪害防止工事の減
消 防 費	△993	深川地区消防組合負担金の増、防衛施設周辺無線放送施設整備工事の減
教 育 費	237	沼田小学校改築工事の減、教育経費の増
公 債 費	1億8,460	長期債繰上償還元金の増
諸 支 出 金	1億2,457	ふるさとづくり基金指定寄附金の増、振興基金積立金の増、移住定住応援基金積立金の増、地域医療確保安定化基金積立金の増
職 員 費	2,167	職員給与費の増
計	3億3,974	※それぞれの予算の不用となった額を減額補正しております。

特別会計

特定の事業に使われる経費を一般の歳入歳出と区分して経理する会計です。

(単位：万円)

会計別	当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	予算額
養護老人ホーム	2億3,247	2,604	278	2億6,129
特別養護老人ホーム	3億9,462	—	△607	3億8,855
高齢者グループホーム	3,842	6	—	3,848
国民健康保険	5億3,695	2,476	△2,373	5億3,798
介護保険	3億3,321	397	△100	3億3,618
後期高齢者医療	5,739	11	△301	5,449
公共下水道	2億1,162	—	53	2億1,215
合計	18億468	5,494	△3,050	18億2,912



公営企業会計

地方公営企業とは、地方公共団体が地域住民の福祉の増進を目的として経営する企業です。

(単位：万円)

会計名	区分		当初予算額	上半期における補正額	下半期における補正額	予算額
水道事業会計	収益的	収入	1億4,819	—	△494	1億4,325
		支出	1億4,819	—	△494	1億4,325
	資本的	収入	341	—	—	341
		支出	3,812	—	△44	3,768



特別会計と公営企業会計は、税、使用料、負担金、国、道支出金のほか一般会計からの繰入金等で運営がなされ、効率的運用に努めています。

町税の負担状況

人口 3,475 人 (平成 25 年 3 月末)

税区分	予算額 (万円)	構成比 (%)	町民 1 人あたり (円)
町民税	1億4,980	46.9	43,107
固定資産税	1億2,956	40.6	37,283
軽自動車税	789	2.5	2,270
たばこ税	2,081	6.5	5,990
入湯税	1,108	3.5	3,190
合計	3億1,914	100.0	91,840

基金の状況

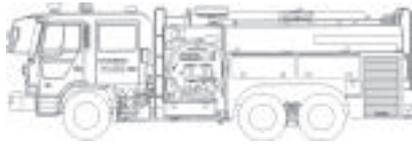
(平成 24 年度現在高見込額)

基金 (一般会計) 26 億 3,989 万円	
・財政調整基金	3億3,513万円
・減債基金	6億9,280万円
・振興基金	6億3,635万円
・ふるさとづくり基金	1,607万円
・みどりの景観等保全基金	1,231万円
・自動車学校基金	46万円
・移住定住応援基金	3,276万円
・社会福祉基金	1億1,352万円
・農業振興基金	1億4,561万円
・農地流動化基金	1,968万円
・企業等誘致推進基金	5,738万円
・商工観光振興基金	2,894万円
・スコレ基金	2,271万円
・青少年スポーツ文化振興基金	100万円
・地域医療確保安定化基金	3億93万円
・沼田町小学校改築整備基金	2億1,823万円
・奨学資金貸付基金	601万円

借入金の状況

(単位：万円)

平成 23 年度末 現在高	平成 24 年度中		平成 24 年度末 現在高
	償還元金 見込額	新規借入 見込額	
36億3,757	6億7,043	3億9,690	33億6,404



消防報

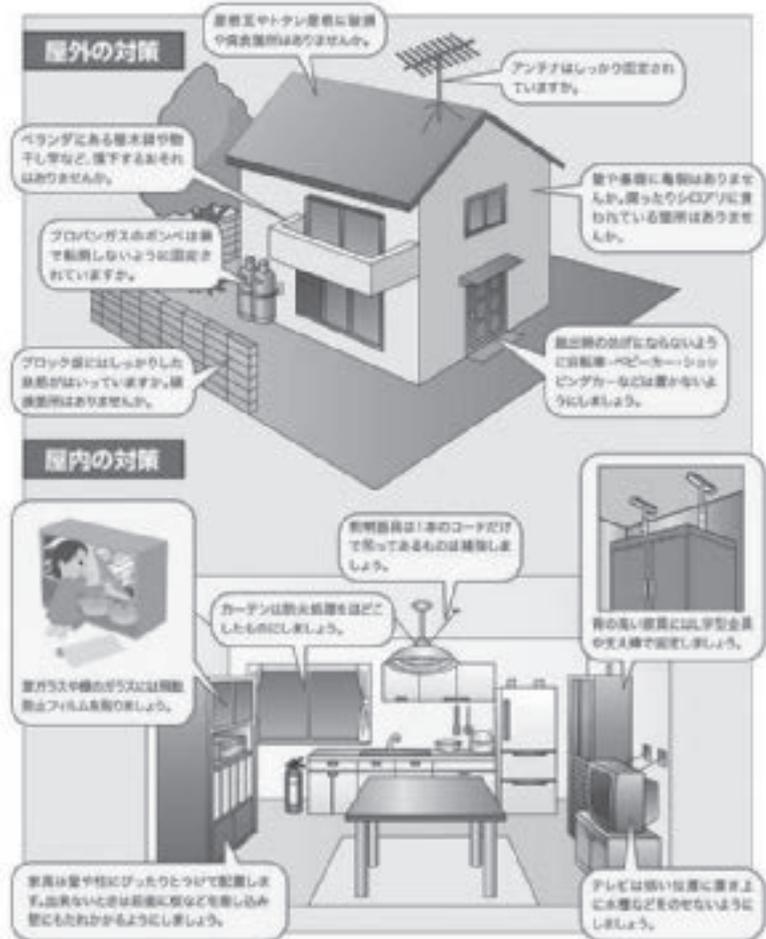
深川地区消防組合
 深川消防署
 沼田支署予防担当
 TEL 35-2050

地震が発生する前に！わが家は大丈夫？

私たちができる最も手軽で有効な地震対策は、家具の転倒・落下を防ぐ対策と、家の周囲の安全対策です。地震が発生する前に家の内外を点検して、以下のような対策を進めておきましょう。

以下の項目を チェックしてみましよう！

- 家屋に腐食や破損・亀裂等はありませんか。
- プロパンガスや灯油タンクは、固定されていますか。
- 玄関や廊下に、物をたくさん置いていませんか。
- 室内の家具転倒防止を行っていますか。
- 窓ガラス等には、飛散防止フィルムを貼っていますか。
- 家族の中に、救急救命講習を受講した人はいますか。
- 避難する場所と避難経路を確認していますか。
- 家族が離れているときの安否確認方法は決めていますか。



非常持出品と備蓄品を 必ず用意しておきましょう！

避難するときに持ち出す必要最小限のもの。
 (家族人数×最低3日分の食料と飲料水)
 ※非常持出品の重さの目安は、10kg～15kg程度です。

備蓄品

自宅で生活するときのもの。
 (非常持出品とは別に保管)



『警報器 あなたの危険 知らせます』

大切な家族や財産を守るため、**住宅用火災警報器**を設置しましょう。



沼田警察署あんぜん広場 NumataPolice

TEL 35-3110



警察官採用試験の

受験申込書を配付中です！

僕と一緒に働いてみませんか？

沼田警察署では、平成25年度（第2回）北海道警察官採用試験受験申込書の配布を開始しています。第2回採用試験は、現役高校生（来春卒業予定の学生）でも受験できる試験で、例年よりも多くの採用を予定しています。

受験申込の受付は、8月7日（水）～28日（水）で、第1次試験は9月22日（日）に行われる予定です。申込書を受け取ったら必ず試験を受けなければならない、ということはありません。警察官の仕事について詳しく書かれたパンフレットの受け取りだけでも大丈夫です。「まだ迷っているけど…」「少し気になる」という方、お気軽に沼田警察署までお問い合わせください。



夏休みにおける少年の非行・犯罪被害を防止しましょう！

～ 考えて 大切な 自分の未来 ～

○万引きは犯罪です！

万引きをすることはもちろん、万引きの見張りをする、万引きを命令する、盗んだ品物をもらう・買うことは、自分が万引きをしていなくても犯罪です。絶対にやめましょう。

○インターネットには危険がいっぱい！

インターネットサイトには、恐ろしい罠が潜んでおり、出会い系サイトやゲームサイト、コミュニティサイトを利用して犯罪被害や性的被害に遭う人が増えています。インターネットサイトを安易に利用したり、サイトで知り合った人とは絶対に会ってはいけません。

○非行防止は家庭から！

家庭は最も身近な社会です。社会のルールやマナー、家庭のルールについて家族で話し合みましょう。

○こんな兆候は要注意！

行き先を言わずに外出したり、帰宅時間が不規則になり、夜遊びや外泊が多くなった。
親に隠れて長時間携帯電話を利用したり、知らない人からメールが届くようになった。

○子どもの携帯電話にはフィルタリングサービスを！



沼田町の事件・事故の発生状況

犯罪の発生状況

(平成25年6月末現在)

		車上狙い	倉庫荒し	忍び込み	万引き	置引き	タイヤ・オートバイ盗	鉄板盗	その他	合計
沼田町	平成25年	1	1	1	1	1	(オートバイ) 1	1	1	8
	平成24年	0	0	0	0	0	(タイヤ) 1	0	0	1

交通事故の発生状況

町民が町外で第1当事者となった人身事故件数

町内における交通事故件数

人身事故		物損事故	
平成25年	1	平成25年	4 8
平成24年	2	平成24年	5 6

平成25年	0
平成24年	0

(平成25年6月末現在)

物損事故の主な原因のワースト3は、前方不注視、ブレーキ操作の不適、後方不注視です。

(平成25年6月末現在)

生涯
学習

ゆめつくる



～第1回目はパークゴルフ教室～

「子ども交流ひろば」とは？

放課後等の時間を活用し、次世代を担う子どもたちが、地域の大人と一緒に、体験や伝承遊び、芸術文化・スポーツを通じて、「生きる力」「郷土愛」を育み、異年齢の子ども同士が交流することを目的とした事業です。

6月3日、第1回目の『子ども交流ひろば』を開催いたしました。内容は「パークゴルフ教室」ということでパークゴルフ協会の皆さんや、スポーツクラブの皆さんによる町内の子どもたちへのパークゴルフのご指導をいただきました。初めてパークゴルフをする子どもたちも多く、なれない手つきでクラブをにぎっていましたが、みなさんの熱い指導の下、子ども達はとても楽しんでいました。

① 世代を超えた交流

町内の子ども達が、地域の方々からスポーツなど様々な指導を受け、これらを通じての交流する機会は、地域活性の面や、子どもの健全育成にも大きく貢献するものです。また、保護者や、学校の先生以外の大人から指導を受けるという機会は、子どもたちにとって普段は味わえない良い刺激になったのではないのでしょうか。



② 持前の特技をフル活用!

ご協力いただいた皆さんにとっても、日ごろ秘めている持前の特技を活かし、指導という形で地域に貢献していただける良い機会にもなったのではないのでしょうか。

また、子どもたちの無邪気な姿を見ながら、自分の子供の頃を、ふと思い出し、少年少女の心で楽しむことができる場であったのではないかと思います。



～お知らせ～

沼田町教育の更なる充実と町の発展を目指し、「沼田町総合教育計画」を策定しました。策定にあたり多くの皆様にご協力いただきましたことに感謝申し上げます。

今回の区長発送にて、「沼田町総合教育計画」の概要版を全戸配布していますのでご覧ください。



司書のイチオシ! 『夏休みの自由研究』



もう少しで夏休み。夏休みは、プールや旅行など楽しいことがいっぱいですね。でも、宿題をやらなければ楽しさも半減してしまいます。宿題の中でも頭を悩ませるのが自由研究ではないでしょうか。

そこで、今回は自由研究にピッタリの本を紹介しましょう。

紙工作やペットボトルやラップの芯を使った工作もありますが、実験や観察といったものも楽しいですね。今回紹介する本には、塩の結晶を作る実験やフィルムケースを使ってつくる温度計など目をひくような自由研究がたくさん載っています。

もちろん、定番の紙工作やペットボトルなどを使用した自由研究が載っている本もあります。

お子さんの興味に合わせて本を選んで、家族と一緒に自由研究を楽しむというのも夏の思い出になると思います。

また、町の福祉マップ作成や雲の観察など、本にテーマややり方が載っているものもあるので、工作や実験が苦手というお子さんには調査系の自由研究はどうでしょうか。個人的に調査系のおすすめは、郷土史の調査です。図書館にある郷土資料などを使って手軽に調べることができ、自分の住んでいる町のことも知ること

ができておすすめです。自由研究の本や参考になる本は図書館にたくさんあります。図書館に来館された際は、ぜひ手に取ってみてください。

新刊図書

《一般書》

- 「大泉エッセイ」 作者：大泉 洋
- 「桜ほうさら」 作者：宮部みゆき
- 「自分を愛する力」 作者：乙武 洋匡
- 「モンスター」 作者：百田 尚樹
- 「密売人」 作者：佐々木 譲
- 「毎日がパンまつり」 山崎製パン株式会社
- 「わたしたちの手話学習辞典」 作者：大杉 豊
- 「極貧！セブンティーン」 作者：黒野 伸一
- 「銀の匙 6巻・7巻」 作者：荒川 弘
- 「テルマエ・ロマエ 5巻」 作者：ヤマザキマリ
- 「すぐ使えるロープとひも結び百科」 作者：富田 光紀

《児童書》

- 「ふうせんクジラ」 作者：わたなべゆういち
- 「ぼうさまになったからす」 作者：司 修
- 「いいからいいから3」 作者：長谷川義史
- 「もりもりくまさん」 作者：スズキコージ
- 「13歳のキミへ」 作者：高濱 正伸
- 「そんな軽い命なら私にください」 作者：渡部 成俊

新刊図書おすすめ!!

「ソードアート・オンライン」 河原 礫



クリアするまで脱出不可能、ゲームオーバーは本当の“死”を意味する謎の次世代MMO『ソードアート・オンライン』に参加したキリトは、クリア条件の最上階層を目指し女流剣士アスナとコンビを組む。その出会いは、キリトに運命とも呼べる契機をもたらす。

「社会人大学人見知り学部卒業見込」 若林 正恭



下積み期間と呼ばれる長い長いモラトリアムを過ごしたぼくは、随分世間離れた人間になっていた。芸人・若林正恭が、30歳を過ぎてから社会への参加方法を模索した経験を綴る。

「月下花伝」 越水 利江子



猫に気を取られ月不宿を取り落した秋飛の前に沖田総司が現れて…。激動の時代を駆け抜けた青年・沖田総司と現代の少女・秋飛の物語。

今のうちから雪対策！

融雪施設を設置しませんか？

昨年、今年と大雪に見舞われ、毎日の除雪で雪捨て場にお困りの方も多かったのではないのでしょうか。

融雪溝沿線以外の市街地に限定されますが、町では融雪施設を設置する方に20万円（共同施設の場合40万円）を限度に設置費用の2分の1以内を助成しております。

昨年、この制度を活用して融雪槽を設置した保科武夫さん（南町）

は、「融雪槽を作るまでは家の裏

まで雪を捨てに行っていた。今年も雪が多かったので、融雪槽があつて本当に助かった。近所のみんなにもぜひ勧めたい」と大変喜んでおられました。

冬將軍が到来する前に、融雪施設を設置して快適に冬を乗り切りませんか？融雪施設の設置をお考えの方は、役場商工観光課までご相談ください。

融雪施設設置補助金の概要

■支給対象地域

市街地（下水道計画地域（融雪溝路線に面した地域は除く）

■支給額

20万円を限度に設置費用の2分の1以内（千円未満切り捨て）（共同施設の場合の限度額は40万円）

●お問い合わせ窓口

役場商工観光課

・電話 35・2112

・FAX 35・2393

広報ぬまた 第五七〇号



「融雪槽を作って本当に便利になった」と語る保科さん

今月号の赤ちゃんです。すくすく育ってね！



鈴木 眞歩ちゃん（次女）
4月30日生まれ

お父さん 雅也
お母さん 久美子

（東 予）



高橋 咲菜ちゃん（長女）
5月27日生まれ

お父さん 竜介
お母さん あゆみ

（旭町西）

おくやみ

氏名	月日	年齢	住所
織田 政光 さん	6月10日	98歳	旭町東
松井 實恵子 さん	6月16日	69歳	中央
吉岡 房子 さん	6月20日	80歳	北竜3

人の動き

人口 **3,468**人（前月比 +11人）
 （男性 1,642人 女性 1,826人）
 65歳以上 1,306人（高齢化率 37.7%）
 世帯数 1,600戸（前月比 +6戸）
 ○総人口増減内訳
 増加…転入：16人 出生：2人
 減少…転出：4人 死亡：3人
 （平成25年6月28日現在）

交通事故死ゼロ

358日

継続中！

（平成25年7月1日現在）

二〇一三年七月二十五日発行 発行者 北海道雨竜郡沼田町長 金平嘉則
 ◆まちのどんな情報でも構いませんので、ぜひお聞かせください。編集 総務課広報情報グループ 亀谷・小川 電話〇二六四―三五―二二一